

令和3年第3回北海道議会定例会 一般質問 開催状況 (環境生活部)

開催年月日 令和3年9月29日(水)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事 鈴木 直道
 環境生活部長 森 隆司

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>六 ヒグマ対策について</p> <p>(一) ヒグマの調査と専門家の要請について</p> <p>北海道ヒグマ管理計画では、ヒグマとの共生をめざしています。しかし、精度の高い調査は行われておらず、行政の中に専門家が育成されていない課題をこれまで指摘してきました。道は、調査と生息状況の把握にどう取り組み、専門家をどれだけ、どのように養成していこうとしているのか伺います。</p> <p>(二) 市街地でのヒグマ駆除の事案と対応について</p> <p>今年ヒグマによる人身被害が多発し、市街地への侵入も札幌、旭川などに頻発していることから、市街地においても共生できる環境の整備が必要となっております。これまで道内の市街地での駆除の例は、どのような状況下で、どれだけあったのか道警察に伺います。また、どのように対応したのか道と道警察に伺います。</p> <p>(四) 生活圏への出没について</p> <p>市街地への出没や農業被害等、ヒグマと人とのあつれき防止について、生活圏と生息域とのゾーニング、クマの侵入を防ぐ電気柵などの対策が有効とされ、私どもはこれまで設置を求めてきましたが、今後の対策を伺います。</p>	<p>(知事)</p> <p>最後にヒグマ対策に関し、生息状況の把握などについてありますが、ヒグマ対策の実施に当たっては、生息数や生息状況を適切に把握することが必要であり、これまで、ヘアトラップ調査や広域痕跡調査などを実施し、基礎的なデータを収集しているところであります。</p> <p>また、ヒグマの捕獲には、地域の地理や実情に精通していることに加え、高い技量と豊富な経験が必要であることから、経験の浅いハンターが、技術の習得などを目的に熟練者の捕獲に同行する「技術者育成捕獲事業」を実施するとともに、市町村及び振興局や警察の職員を対象としたヒグマ対策に関する「保護管理人材育成研修会」にも取り組むこととしております。</p> <p>道としては、より正確な生息実態の把握に向け、専門家の方からの助言もいただき、調査地点や手法等の改善に向けた検討を進めるとともに、現在、改定作業を進めている次期「ヒグマ管理計画」に、担い手育成の強化や専門人材の確保を盛り込むなど、生息実態の把握と、適切な保護管理に取り組んでまいります。</p> <p>(環境生活部長)</p> <p>はじめに、ヒグマ対策に関し、まず市街地での対応についてでございますが、ヒグマの出没時におきましては、道、市町村、警察や猟友会など関係機関が連携した取組みが重要でございますことから、道では、「対策の手引き」や「出没時の対応方針」の中で市街地や夜間における緊急時の対応などをお示しをし、関係機関で方策を共有しながら取り組んでいるところでございます。</p> <p>また、道民の皆様に対しては、パンフレットなどによる啓発活動に加え、ホームページやSNSを利用した出没時の注意喚起や情報提供を行うとともに、住民の皆様からいただいた目撃情報も対策に活かしてきたところであります。</p> <p>さらに、市街地への出没や人身事故の増加を踏まえ、7月には緊急の関係者会議を開催し、関係法令や対応方針について改めて確認をしたところであり、引き続き、地域の連絡協議会などで、認識の共有や連携の強化に努め、市街地への出没に迅速かつ適切に対応してまいります。</p> <p>(環境生活部長)</p> <p>次に生活圏への出没対策についてでございますが、近年、市街地への出没や農作物への被害、放牧中の家畜が繰り返し襲われるなど、ヒグマとのあつれきが道内各地で増加しておりますことから、道では、地域連絡協議会など様々な機会を通じて、市町村や農業者の方々に対し、下草の刈り払いや伐採による移動経路の遮断、電気柵の設置の助言を行うなど、ヒグマによる人の生活圏への侵入防止に向けた</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(指摘)</p> <p>次にヒグマ対策についてです。今後、ヒグマとの共生を前提に、ヒグマの追跡や調査への同行、追い払いや駆除等にも的確に対応できる専門部署を道にも道警察にも設け、現場で適切な判断ができるようにする必要があると考えております。知事及び道警察に検討を求めておきます。</p>	<p>取組の促進に努めてきたところでございます。</p> <p>ヒグマは学習能力が高く、一度電気柵で衝撃を受けると、それを避けるようになることが知られており、道といたしましては、電気柵の設置は侵入防止に有効な手段の一つと考えておりますことから、各地域の協議会や地域の人材育成のために実施する研修会におきまして、市町村や地域の関係者の皆様とその効果や設置方法について認識を共有するとともに、各対策が一層進むよう、国に必要な予算の確保を要望するなど、引き続き、ヒグマの生活圏への侵入による被害の防止に努めてまいりたいと考えてございます。</p>